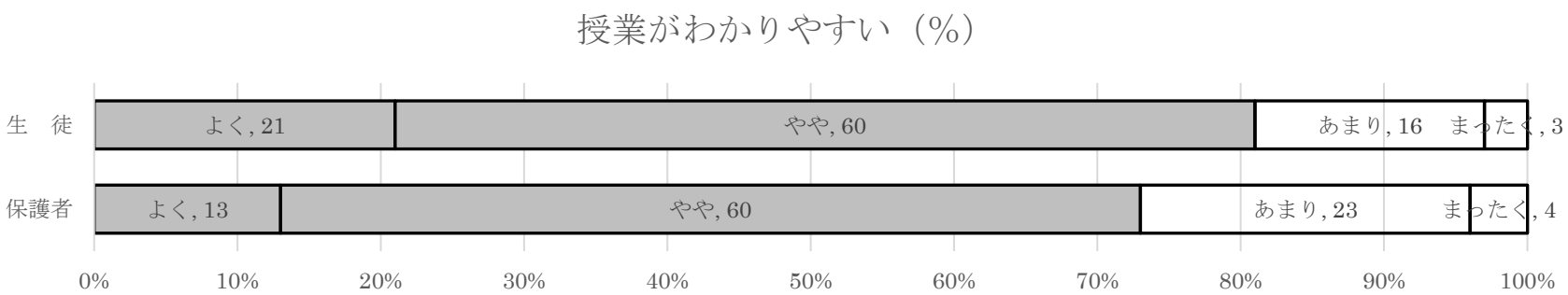
令和２年度　学校教育自己診断について

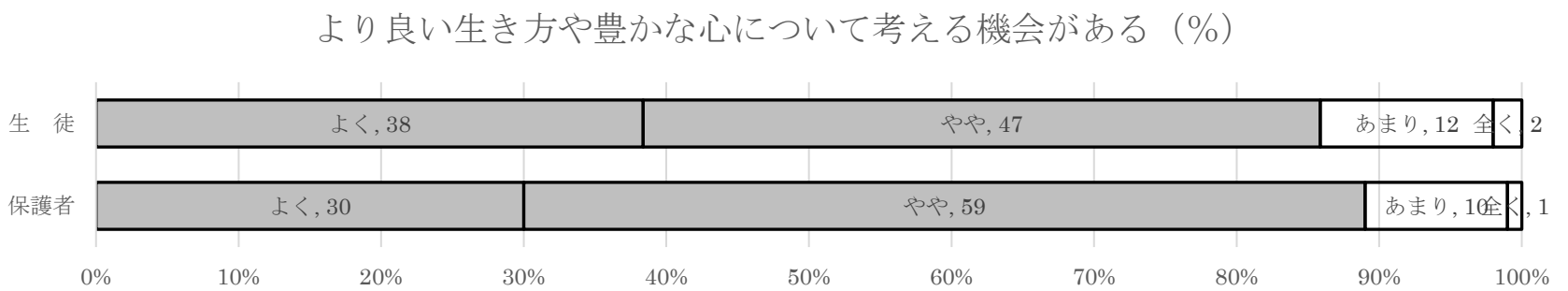
学校教育自己診断アンケートの結果から、今年度の学校教育重点目標である「知・徳・体を鍛える学校」のテーマに沿った、以下の３項目について報告させていただきます。
（アンケートは「よくあてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の４段階）

【重点目標①「知」を鍛える】に関する質問項目



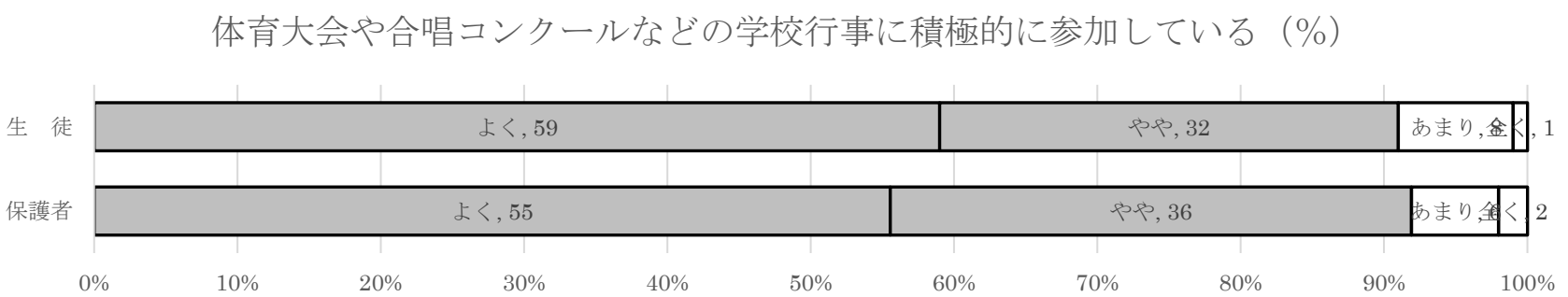
生徒８１％（昨年比＋１８％）、保護者７３％（昨年比＋１１％）の肯定的回答（よく＋やや）がありました。学校全体で班活動やペア学習を重視し、生徒どうし、あるいは生徒と教員が交流する中で、視野を広げ、学習を深める活動を行ってきた結果、ここ数年、数値が伸びてきている項目です。今年度は感染予防のため、学習活動の一部が制限される中でしたが、子どもたちは意欲と集中力を持って学習に取り組むことができました。今年（令和３年）はいよいよ「ＧＩＧＡスクール構想」により、１人１台のｉＰａｄを使用した授業が導入されます。われわれ教職員もＩＣＴの支援を得て、よりわかりやすく、より充実した授業づくりを目指してまいります。

【重点目標②「徳」を鍛える】に関する質問項目



生徒８５％（昨年比＋８％）、保護者８９％（昨年比＋８％）の肯定的回答がありました。昨年度より「特別の教科　道徳」として道徳が教科化され、従来型の道徳授業から脱却した、「考える道徳」「議論する道徳」の実践が望まれています。本校でも生徒一人ひとりがホワイトボードに自分の意見を書き、クラス全体で交流することで、多様な価値観に触れ、答えが一つではない道徳的な課題を自らの問題として捉え、より良い生き方や豊かな心について考えを深めていく授業を実践しています。道徳においてもｉＰａｄが導入されることで、意見の集約や共有がよりすばやく、手軽に行えるようになります。他の教科と同様、ＩＣＴを有効に活用した「対話」の中で、子どもたち一人ひとりが思考し、判断して、自分の考えをもち、それを発表できる力を、引き続き育成していきたいと考えます。

【重点目標③「体」を鍛える】に関する質問項目



生徒９１％（昨年比＋８％）、保護者９１％（昨年比＋２％）の肯定的回答がありました。子どもたちの中で、ＳＮＳやゲーム、動画等、オンラインでの「体験」が増えている今、自分の体を使った生の（オフラインの）体験を通じて成長し、仲間とともに一つの行事をつくり上げる経験は何事にも替えがたいものです。「一中だより」や「貝の子ネットニュース」等でもお伝えしましたが、子どもたちはコロナによる予定変更や感染予防対策による不自由にもめげず、工夫を凝らし、励まし合って、全力の体育大会を、感動の合唱コンクールをつくり上げてくれました。

コロナ禍による様々な制限はもちろん望ましいものではありませんが、制限があるからこそ、工夫をして新しいものを生み出す創造力を発揮することができるともいえます。子どもたちが将来、この時期を振り返ったときに「コロナだったからできなかった」ことではなく「コロナだったけれどもがんばった」「コロナだったからこそやることができた」ことを思い出し、自らの未来を切り開く力にしてもらえればと思っています。